

令和5年度 道徳教育支援事業

(文部科学省・群馬県教育委員会委託事業) 研究指定校

# 主体的・対話的な学びを もとに生徒が『考え、議論 する』道徳の授業づくり

～ICTを効果的に活用した授業づくりを通して～

令和5年 11月7日(火)

安中市立第二中学校  
校内研修主任 高田 翼

# 学校教育目標

『豊かな心をもち、たくましく  
生きる力のある生徒の育成』



- 思いやりの心を持ち、  
互いに協力する生徒の育成（友和）
- 心身を鍛え、何事にもねばり強く  
取り組む生徒の育成（健康）
- 確かな学力を求めて、  
主体的に学習する生徒の育成（自学）

## 今年度の重点

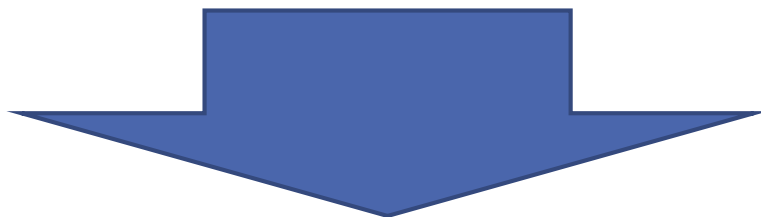
**生徒の健全成長 及び  
学校への信頼増を目指した  
職員のwell-beingの実現**

## 道徳の重点目標

- 豊かな人間関係に基づいた  
規律ある集団づくり
- 他者を尊重できる  
温かな集団づくり

## 本校の生徒の実態

- あいさつがきちんとでき、誰とでもすぐに打ち解けて仲良くなれる。
- 行事や部活動などに意欲的に取り組み、活発である。
- 自分の意見をもって取り組もうとする。
- ▲自分本位になってしまう。



# 令和5年度 道徳教育総合支援事業

## C 主として集団や社会との 関わりに関すること

研究主題・副主題

**主体的・対話的な学びをもとに**

**生徒が『考え、議論する』**

**道徳の授業づくり**

～ICTを効果的に活用した授業づくりを通して～



# 道徳教育に関する現状と課題

- ①「考え、議論する道徳」の実現に向けた授業づくりが難しい。
- ②道徳の授業でICTの効果的な活用ができていない。
- ③道徳の授業の教材研究や発問の仕方に  
教員の中で力量の差が大きい。
- ④生徒の変容を見取ることが難しい。
- ⑤道徳で学んだことが、日々の生活で生かされない。

(教師へのアンケート)

# 道徳教育に関する現状と課題

- ①自分とは違う意見を聞いて、  
他者の意見を受け入れようとする気持ちになる。
  - ②わかりきったことを聞かれるため、きれいごとを答えてしまう。
  - ③教科書の内容を、自分に置き換えて考えるのが難しい。
- （生徒へのアンケート）

# 本事業の取組の概要

- 1 外部講師の招聘による  
職員への講義
- 2 家庭・地域との連携
- 3 ICTの効果的な活用

# 本事業の具体的な取り組み

日付	具体的な取り組み
5月10日	学校運営協議会への授業公開
5月11日	道徳教育推進教師による提案授業
6月5、6日	学校公開①
6月7日	久保教授、紺谷先生による教員向け道徳講義
6月27日	指導案作成・久保教授による模擬授業
9月11日	要請訪問
9月21、22日	学校公開②

組織

取組①

取組②

取組③

成果

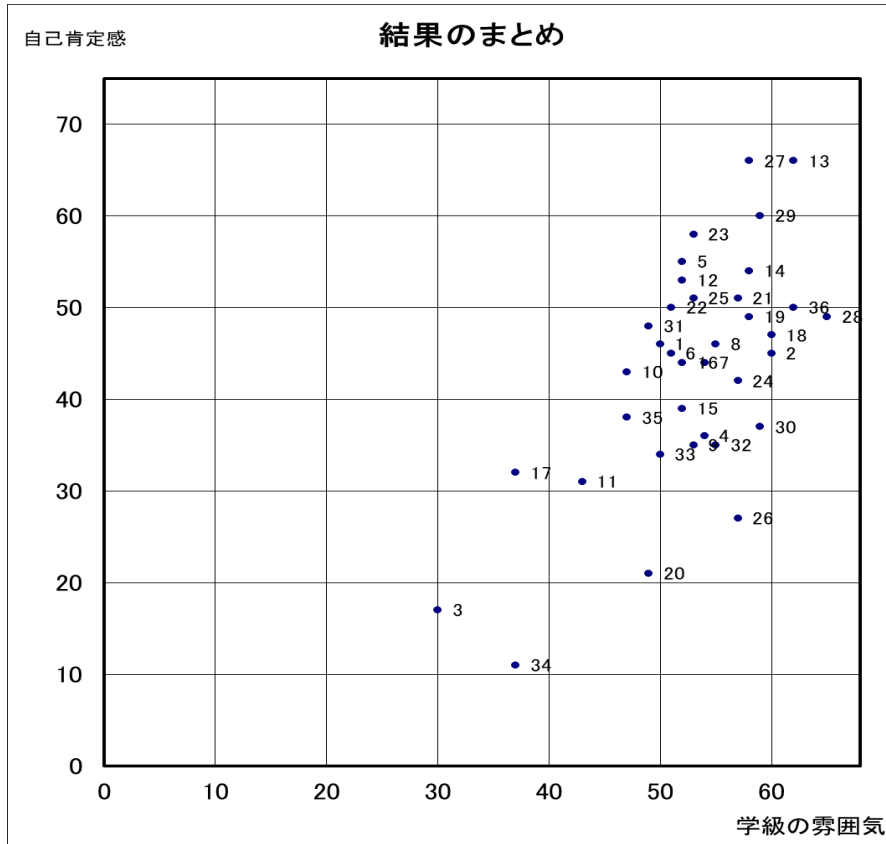
課題

## 部会編成

広報班	年間指導計画・ 別葉作成班	アンケート・データ 分析班
<ul style="list-style-type: none"><li>写真撮影</li><li>ビデオ撮影</li><li>大学教授へのデータの転送</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>年間指導計画の見直し</li><li>別葉の作成</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>C&amp;Sアンケートの実施、分析</li></ul>



# C&Sアンケートの実施（4月）



- 「集団」「個」の両方から実態を把握
- 「自己肯定感」「学級の雰囲気」の結果を確認し、学級経営に生かす

○年○組

アンケート・データ分析班

組織

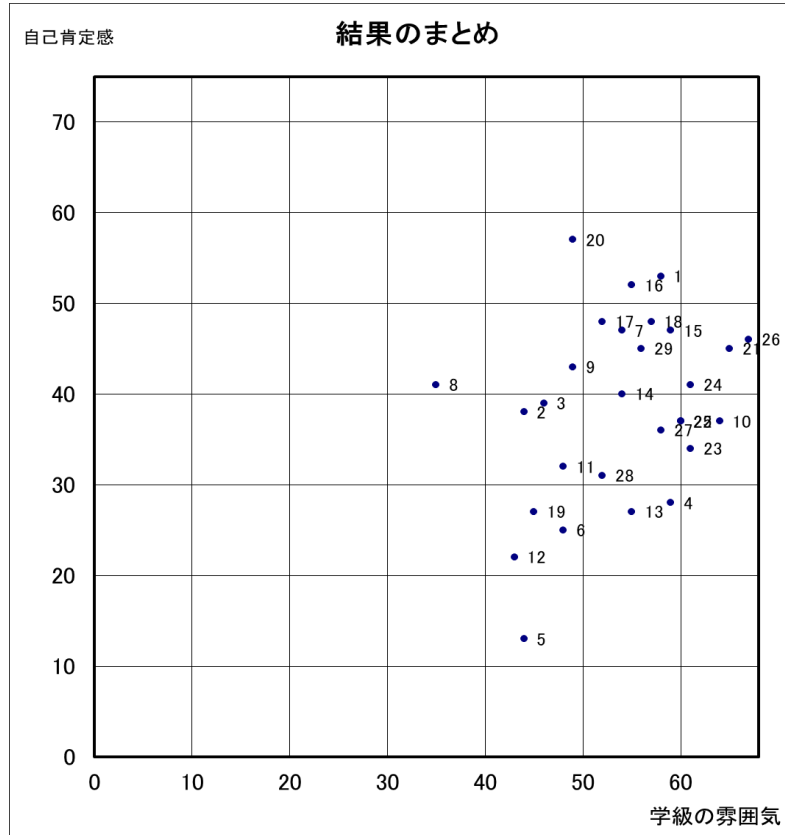
取組①

取組②

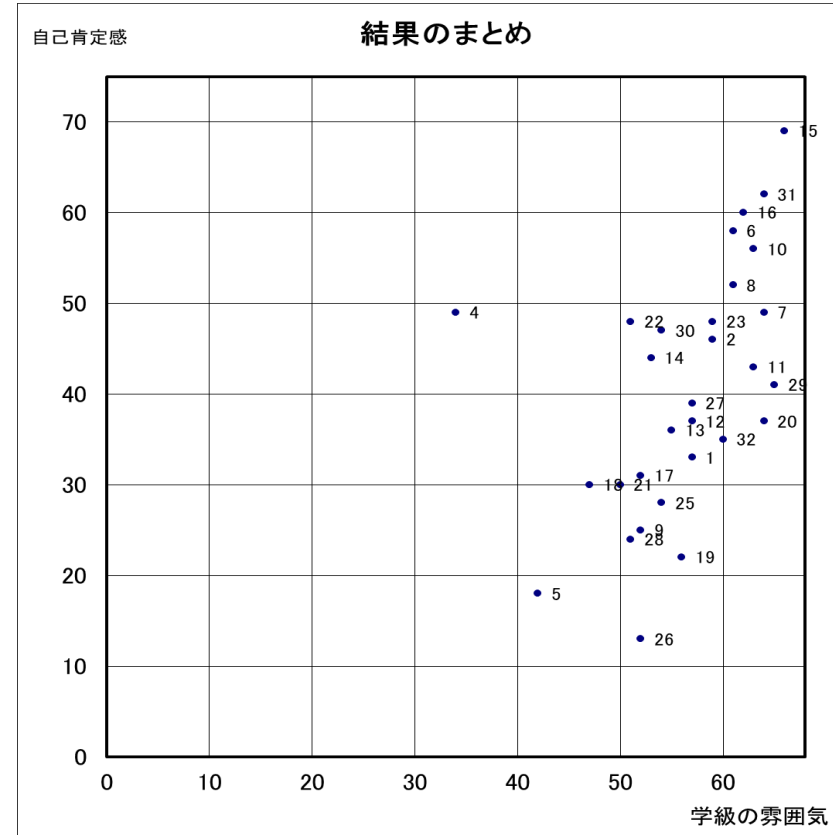
取組③

成果

課題



○年○組



○年○組

アンケート・データ分析班



組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題

## 取組①

道德教育に係る

外部講師の招聘による講義

組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題



**外部講師の招聘**

組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題

## 議論を深めるために

① 指導者が意図をもつこと

☆ 考えさせたい部分はどこか。

☆ どう意見を交流させたいのか。

☆ 子供たちにどうなってほしいのか。

② 自分ならどうするかを考える。（自我関与）

③ リラックスした学級の雰囲気 ⇒ 本音を引き出す。

**外部講師の招聘**

組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題

## 議論できる環境を作るために

- ① 生徒が、自ら発言する。
- ② 周りの生徒から出た意見を、自分で整理する。
- ③ 自分の意見を見つめ、考える。

**生徒を鍛える**



**生徒に任せる（教師の役割の見直し）**

**外部講師の招聘**

組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題

## ICT 必要感をもって使う

- ① 課題や補助資料、授業の流れの提示
- ② 何をすべきかのガイダンス
- ③ 自分の考えを見せての説明
- ④ 多様な考えの交流
- ⑤ 考えの一覧表示
- ⑥ 振り返り 等

**外部講師の招聘**

組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題

## 久保教授による模擬授業



発問の工夫



話し合う時間の確保

外部講師の招聘

組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題

〇〇という意見だとおもうから賛成

〇〇という意見だとおもうから反対

高田 森田

小林

賛成

反対

色で分ける

場所で分ける

外部講師の招聘

組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題

## 取組②

家庭・地域との連携による

道徳教育の取り組み



組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題

## 学校運営協議会（5月10日）



家庭・地域の連携

組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題

## 学校公開（6月5日、6日）（9月21日、22日）



家庭・地域の連携

組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題



**学校長・学年主任による道徳授業**



**学校全体で道徳の授業を充実化**

**家庭・地域の連携**

組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題

## 取組③

ICTを効果的に活用した  
道徳の授業づくり

組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題



興味・関心をもつ



見通しをもつ

可視化

取組③ ICTの効果的な活用

組織

取組①

取組②

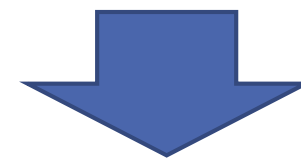
取組③

成果

課題



導入部分の工夫



流れの定着化

ICTの効果的な活用

組織

取組①

取組②

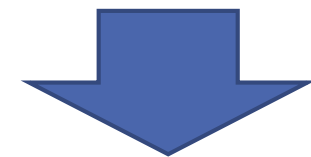
取組③

成果

課題



**範読の工夫**



**短時間で内容を  
を把握**

**ICTの効果的な活用**

組織

取組①

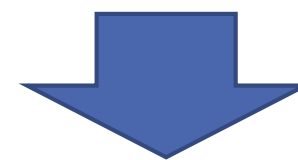
取組②

取組③

成果

課題

# 心情円の活用



## 心情や意見の 変容を可視化

**ICTの効果的な活用**





組織

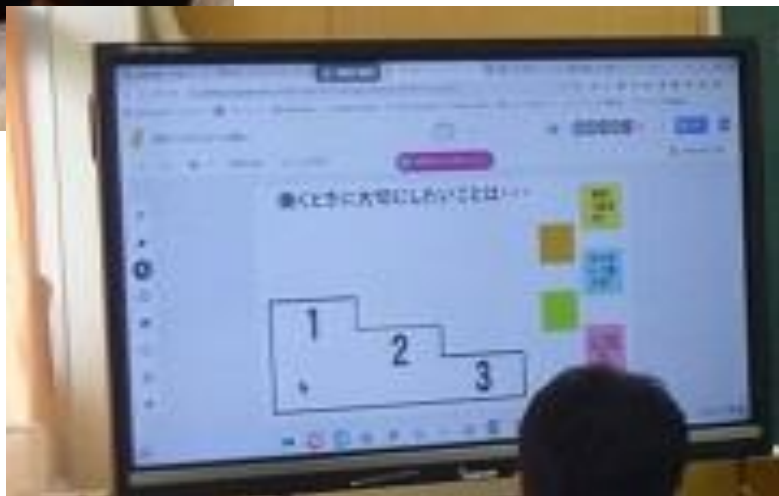
取組①

取組②

取組③

成果

課題



色で分ける  
置く場所を工夫  
する



意見の共有  
思考の整理

ICTの効果的な活用

組織

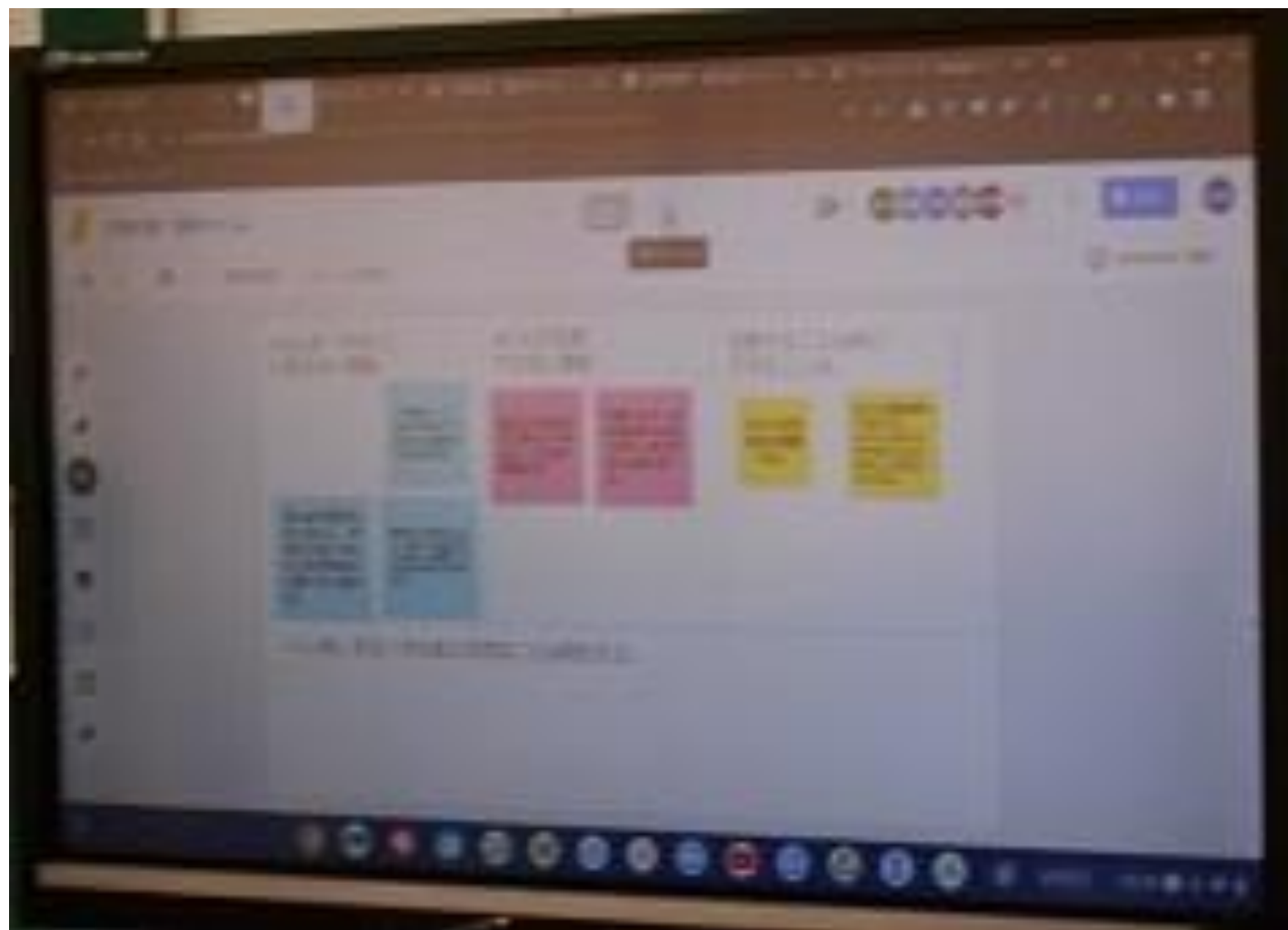
取組①

取組②

取組③

成果

課題



組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題

## 《成果①》

道徳の授業に対する、  
教職員の意識の変化



(生徒) 自分事として考える習慣

組織

取組①

取組②

取組③

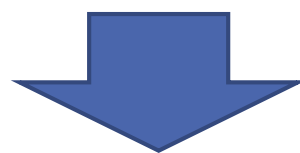
成果

課題

## 《成果②》

道徳の授業における

ICTの効果的な活用



(生徒) ICTを活用した

意見交流の充実

組織

取組①

取組②

取組③

成果

課題

# 「考え、議論する道徳」の実現に向けて

## 《課題①》

本音で話せる環境づくり

## 《課題②》

振り返りの方法の共通理解・蓄積

ご静聴ありがとうございました。